

ミニサッカー大会のルール

1. ゴールキーパーに関するもの

(1) ボールスロー(ゴールクリアランス)の採用

攻撃側のプレーヤーによって、ボールがゴールラインから出された時は、守備側ゴールキーパーのボールスローで再開する。

インプレー中キャッチした場合もボールスローとする。

(2) ボールスローが直接ハーフウェイラインを越えた場合は、相手側にハーフウェイライン上の任意の地点から間接フリーキックが与えられる。

(3) 味方からのバックパスを足で処理することは可能。ゴールエリア外でのプレーも可能(勿論、手で処理することは不可)。

2. キックインに関するもの

(1) ボールがタッチラインを越えた時は、その地点のライン上から相手側のキックインで再開する。

(2) キックインからのボールが直接ゴールに入った場合は相手キーパーのボールスローで再開する。

(3) キックインしようとしたボールがピッチ内に入らなかった場合は、相手側のキックインにより再開する。

3. コーナーキックに関するもの

(1) コーナーキックはゴールラインとタッチラインの交点(つまり角)にボールを置いて行う。

(2) コーナーキックから直接得点できる。

(3) コーナーキックしようとしたボールがピッチ内に入らなかった場合は、相手側キーパーのボールスロー(ゴールライン側に蹴られたとき)または相手側のキックイン(タッチライン側に蹴られたとき)で再開する。

4. 交代に関するもの

(1) 交代はインプレー中でも自由に行うことができる。ただし、交代する場合は主審に告げた上で行う。

なお、ゴールキーパーの交代はアウトオブプレーの時でなければならない。

(2) 交代する時は、交代ゾーンにおいて行わなければならない。その際、競技中のプレーヤーが完全にタッチラインから出なければ、交代するプレーヤーは入ることができない。

(3) 交代は何度でも可能とする。

5. その他

- (1) オフサイドルールは採用しない。
- (2) 反則は、原則、11人制のルールを採用する。正当なショルダーチャージは反則としない。
- (3) フリーキック、コーナーキック、ペナルティキック、キックイン等の時には、相手側プレーヤーはその場所から5メートル以上離れなければならない。
- (4) ペナルティエリア内において守備側のプレーヤーが間接フリーキックに該当する反則を行った場合、反則した場所に最も近いペナルティエリアのライン上からフリーキックを行う。その際、守備側のプレーヤーは5メートル以上離れなければならない。
- (5) 審判は1名で行う。
- (6) 4秒ルールは採用しない。
- (7) スライディング・タックルは禁止。
- (8) キックオフのボールが直接相手側ゴールに入った場合、ゴールは認めない。
そのときはキーパースローで再開する。

以上